

採用施設一覧（◎は基幹施設、○は連携施設）

◎墨東病院

○広尾病院

○大塚病院

○駒込病院

研修プログラムの特徴

● 墨東病院（基幹施設）

都立墨東病院皮膚科東京医師アカデミー専門研修プログラム

プログラム責任者：皮膚科 沢田 泰之 プログラム研修期間：5年

連携施設病院：広尾 / 大塚 / 駒込

防衛医科大学校病院 / 独協医科大学病院

本プログラムは大学医局への入局にこだわらず、墨東病院皮膚科を研修基幹施設とし、研修連携施設・研修準連携施設を加えた研修施設群を統括する研修プログラムです。なお、本プログラムは各研修施設の特徴を生かした複数の研修コースを設定しています。

【研修方法】

人口140万人を有する都区東部医療圏最大の総合病院です。高度救命救急センター、総合周産期センター、感染症病棟などをもち、様々な疾患において地域医療の中心的役割を果たしています。皮膚科においても、天疱瘡・膠原病などの難治難病、重症感染症・壊疽などの救急や皮膚・皮下腫瘍、皮膚悪性腫瘍などの皮膚外科、下肢静脈瘤・下腿潰瘍などの皮膚の循環障害の診断と治療、他施設では例を見ない超音波検査、CT、MRIなどの画像を使用した診断など地域においてなくてはならない役割を果たしています。

専攻医は年間200名程度の入院患者を3名1組のグループで診療し、数多くの希少な疾患を経験することができます。皮膚科学会主催の必須の講習会を受講し、年に1回以上筆頭演者として学会発表を行い、論文を作成します。皮膚科関連の学会、学術講演会、セミナーに積極的に参加します。病院が実施する医療安全講習会に定期的に参加します。

研修コース  
モデル

1年次

| 4    | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 墨東病院 |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |

（基本Aコース）研修基幹施設を中心に研修する基本的なコース。

2年次

|      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 墨東病院 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

臨床のみではなく、学会発表、論文作成など臨床研究の基礎を基幹病院で研修した後に、連携病院で臨床を行う。

3年次

|      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 連携施設 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

連携施設は原則として1年ごとで異動するが、諸事情により2年間同一施設もあり得る。

4年次

|      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 連携施設 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

連携施設は原則として1年ごとで異動するが、諸事情により2年間同一施設もあり得る。

5年次

|      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 墨東病院 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

最終年次には、診療チームのサブリーダーとし、難度の高い疾患の治療計画手術計画を立てるとともに、後輩の指導を行うことにより自らの不足している部分を発見し補う。

● 広尾病院（連携施設）

指導医責任者：皮膚科 岩澤 うつぎ

連携をしている基幹施設病院：墨東

当プログラムは皮膚科専門医を取得することを目的としたもので、基幹病院は墨東病院皮膚科です。当院は連携施設にあたります。研修期間は基幹病院が3年、連携施設が2年の合計5年間です。皮膚科で診察する疾患は非常に種類が多く、診察する範囲も頭の先の髪の毛から足の先の爪まで多種多様です。各連携施設の中でも病院によって得意分野が違ってきます。墨東病院皮膚科は皮膚科の救急疾患を多く扱っており、当科は皮膚外科という皮膚の手術を積

極的に行っています。皮膚科の手術は診断をつけて、検査をし、手術の計画をたて、実行し、切除した検体の病理組織を確認するということを1人でできるようにトレーニングしていきます。外来診療も研修開始から半年を目安にひとり立ちできるようにします。初めの半年で皮膚科の基礎的な部分を研修し、その後に実臨床で研修します。平行して手術、皮膚病理の研修も行います。1年目の研修終了までに皮膚生検、粉瘤や母斑など皮膚良性腫瘍の単純切除術を習得できるようにします。2年目では希望あれば検査科の病理部をローテーションすることもできます。手術の研修では全層植皮、小皮弁が習得できれば理想的です。日本皮膚科学会認定専門医の受験資格では手術の経験も必要になります。当科で経験できない疾患は、基幹病院である墨東病院や、大塚病院などの他の連携病院でも研修できます。

### 研修コースモデル

|      | 4         | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1            | 2 | 3 |  |  |  |
|------|-----------|---|---|---|---|---|----|----|----|--------------|---|---|--|--|--|
| 1 年次 | 皮膚科（広尾病院） |   |   |   |   |   |    |    |    | 救命センター（広尾病院） |   |   |  |  |  |
| 2 年次 | 皮膚科（広尾病院） |   |   |   |   |   |    |    |    |              |   |   |  |  |  |
| 3 年次 | 皮膚科（墨東病院） |   |   |   |   |   |    |    |    |              |   |   |  |  |  |
| 4 年次 | 皮膚科（墨東病院） |   |   |   |   |   |    |    |    |              |   |   |  |  |  |
| 5 年次 | 皮膚科（墨東病院） |   |   |   |   |   |    |    |    |              |   |   |  |  |  |

### ● 大塚病院（連携施設）

指導医責任者：皮膚科 井上 梨紗子

連携をしている基幹施設病院：墨東

大塚病院皮膚科は地域の中核病院として紹介される患者さんを診療し、院内コンサルテーションに対応することで、感染症からアレルギー性疾患、腫瘍や膠原病といった幅広い疾患を経験することができます。特に当院は、総合周産期母子医療・小児医療・リウマチ膠原病疾患の拠点特徴を掲げており、当該対応症例が多い特徴があります。また、多汗症、フットケア、アレルギー関連疾患、乾癬の診療に力を入れています。毎日の外来・病棟診療のほか、毎週皮膚病理カンファランス・症例検討会を行っています。主に外来日帰り手術を定時で行っています。院内で行われる各科・各種勉強会が多数あり、皮膚科以外の連携する診療に役立つプログラムに恵まれています。日々の症例の中で、学会発表や論文作成を行っています。大塚病院皮膚科の目標は「医師自らが楽しめる皮膚科」です。変遷する皮膚症状を観察し、患者さんがより良い皮膚状態になってもらうにはどうしたらよいか、自ら考え、過去報告を参照し、他医師やスタッフの意見も聞き、実践してみる。その過程で皮膚に対する理解が深まる体験、うまく治療が進み患者さんが喜ぶ体験、仕事に皮膚科を選んで良かったと思う体験をぜひして頂きたいです。

### 研修コースモデル

|      | 4                                                                     | 5 | 6 | 7 | 8                                             | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|------|-----------------------------------------------------------------------|---|---|---|-----------------------------------------------|---|----|----|----|---|---|---|
| 1 年次 | 皮膚科<br>皮膚疾患の所見の取り方、記載、真菌検査、皮膚生検、皮膚貼付試験、軟膏処置、創傷処置、光線療法、小手術などを実践しながら学ぶ。 |   |   |   |                                               |   |    |    |    |   |   |   |
| 2 年次 | 皮膚科<br>必要時に上級医に助言を求めるが、主体的に皮膚科診療が行えるようになることを目標とする。                    |   |   |   |                                               |   |    |    |    |   |   |   |
| 3 年次 | ER 研修（墨東病院）                                                           |   |   |   | 皮膚科（墨東病院）<br>指導医数が多く、幅広い疾患を経験できる。特に手術症例を多く学ぶ。 |   |    |    |    |   |   |   |
| 4 年次 | 皮膚科<br>主体的に皮膚科診療を行う。自分の得意分野を見出し、同分野の診療レベルを向上させることを目標とする。              |   |   |   |                                               |   |    |    |    |   |   |   |
| 5 年次 | 皮膚科（大塚病院 他連携施設病院）<br>主体的に皮膚科診療を行う。自分の不足分野を補うべく、他施設での研修も考慮する。          |   |   |   |                                               |   |    |    |    |   |   |   |

● 駒込病院（連携施設）

指導医責任者：皮膚腫瘍科 西澤 綾  
連携をしている基幹施設病院：墨東

皮膚外科手術および皮膚悪性腫瘍に対するがん薬物療法を中心とした診療を行っており、外科的手技と腫瘍皮膚科領域の薬物療法の修得が可能である。地域の中核病院として、尋常性乾癬や結節性痒疹などの難治性疾患、蜂窩織炎などの感染症、難治性皮膚潰瘍、薬疹といった多様な皮膚疾患に対応しており、一般皮膚科として幅広い症例を経験することができる。自費診療としてCO<sub>2</sub>レーザーによる治療も行っており、良性腫瘍に対するレーザー治療の手技も修得可能である。

皮膚科カンファレンスに加え、放射線科との合同カンファレンス、免疫チームや希少がんキャンサーボードなど多職種との意見交換の機会が豊富であり、院内での講習会プログラムも充実している。皮膚科領域における筆頭論文の執筆、学会発表、各種講習会への参加も積極的に推奨しており、皮膚科専門医取得を見据えた実践的な研修を行うことができる。

研修の習慣予定表

|    | 月  | 火       | 水  | 木  | 金  | 土 | 日 |
|----|----|---------|----|----|----|---|---|
| 午前 | 外来 | 外来      | 手術 | 外来 | 外来 |   |   |
| 午後 | 病棟 | 病棟      | 病棟 | 病棟 | 病棟 |   |   |
|    |    | カンファレンス | 手術 |    |    |   |   |

※宿直は1～2回/月を予定

研修コース  
モデル

|      | 4                                                    | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|------|------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| 1 年次 | 皮膚腫瘍科                                                |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|      | 皮膚良性・悪性腫瘍の所見の取り方、診断に必要な検査の進め方、皮膚生検術、皮膚良性腫瘍単純切除の手技を習得 |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
| 2 年次 | 皮膚科（墨東病院）                                            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|      | 一般皮膚科の習得                                             |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
| 3 年次 | 皮膚腫瘍科                                                |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|      | 皮膚良性・悪性腫瘍の診断、がん薬物療法の実施、有害事象管理、皮弁、植皮含む外科手技の習得         |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
| 4 年次 | 皮膚科（墨東病院）                                            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|      | 一般皮膚科の習得                                             |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
| 5 年次 | 皮膚科（墨東病院）                                            |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |
|      | 一般皮膚科の習得                                             |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   |